

2015年 7月 1号

## 戦争法廃案求める請願の賛成討論



松原のりかず「戦争法（平和安全法制整備法、国際平和支援法）案

の廃案を求める意見書の提出についての請願」の紹介議員になる！

6月議会最終日、29日本会議での請願への松原のりかず 賛成討論です。

今年も、また8月15日が近づいてまいります。本年は、戦後70年の節目の年です。昭和20年の8月15日に終戦となり、以来、日本が何処の国とも戦争をせず、世界の中で70年間の平和を継続できたのは、平和憲法の存在が大きくあります。

機会がありまして、戸籍の原原本というのを調べましたら、私の兄の父は戦争で死亡しておりますが、死亡日は昭和22年9月26日でした。死亡場所はソビエト連邦の捕虜収容所のようなのでした。

戦争が8月15日で終わらなかった人々も多くみえたということです。私自身の父もシベリヤ抑留を経験しております。

母は岐阜空襲の時、小さな兄を乳母車に入れ、座布団を上からかぶして長良川へ走ったと、言っていました。母は昨年死亡し、父は死んで20年たちました。

若い人に「戦争の事実」を話して頂ける両親や祖父母が少なくなりました。

「マスコミをこらしめるには広告料収入をなくせばいい。文化人が経団連に働き掛けてほしい。」「青年会議所の理事長のときにマスコミをたたいてみた。日本全体でやらないといけなことが分かった。」「沖縄の二つの新聞はつぶさないといけな。」などの発言がされたと報道される安全保障関連法案の勉強会を主宰された自民党木原青年局長は45歳とのことです。更迭されたようです。「法案審議への影響を懸念」との報道です。

国会議員の勉強会であり、「勉強不足」では済まされません。法案の根底に「戦前回帰」「言論弾圧」の思想があるとすれば、「言論の自由」の保障されている内に「廃案」「戦争反対」の声を大きくしなければなりません。

請願の願意は妥当であります。

議員各位のご賛同をお願いし、討論といたします。

連絡先 岐阜市議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

**岐阜市における高レベル放射性廃棄物（核のゴミ）最終処分場の受け入れ拒否に関する  
意見書（案）趣旨弁明（松原のりかず）**

「安全」と宣伝されていた福島原子力発電設備が東日本大震災で事故を起こし、その事故以来、国民・市民の原子力発電行政に対する不安は増大しています。福島原発事故は収束するどころか、汚染水漏水など継続して発覚する事態です。昨日の岐阜新聞では、青森県六ヶ所村で放射性廃棄物容器のボルトが折れているのが 2 月に発見されながら 4 ヶ月以上も国土交通省に報告されていなかった事態が報道されています。

資源エネルギー庁の説明会は、県を経過することなく市町村に直接出席を求める形で全国実施されていますが、説明会は非公開であり市民の原発行政への不信感を更に増大させています。42 万人が居住し市域の狭い岐阜市に、高レベル放射性廃棄物最終処分場を建設することに安全の担保は出来ず、市民生活の安全安心を確保することは出来ません。岐阜市に高レベル放射性廃棄物最終処分場建設を受け入れることは出来ません。

自治体における二元代表制である岐阜市議会として、国および関係省庁に岐阜市民の願いを届けるのは、議会の任務と考えます。議員各位の意見書へのご賛同を切にお願いし趣旨弁明といたします。 **（賛成会派 無所属クラブ、共産。 他は反対に驚き！）**

閉会	29日	6月議会採決	請願賛成討論	意見書趣旨弁明	各派幹事長会議
報告	30日	各種報告作業	市民要望対応	市各職場訪問・意見交換	
水道	1日	水道なんでも相談	市各職場訪問・意見交換		
報告	2日	各種報告作業			
報告	3日	各種報告作業	通夜式		
告別式	4日	各種報告作業	告別式		
集会	5日	STOP戦争法集会（金公園）			
予定	10日	福祉創造会議	文化・スポーツ創造会議	11日	安全保障講演会
	11日	100年の森・農業楽市	14～16日	会派視察（新庁舎・原発関連）	
	18日	メディアコスモス開館	超深地層学習会	22日	公営企業審議会